

【備考】ア:とてもそう思う イ:ややそう思う ウ:あまりそう思わない エ:そう思わない オ:分からない(児童・教職員は、オの項なし) 肯定的(アイ)・否定的(ウエオ)

No.1

項目	設 問	回答者	2 学期 各項目選択率(%)					考 察	改善策等
			ア	イ	ウ	エ	オ		
Ⅰ 確かな学力の向上	1 教職員は、分かりやすい授業になるよう工夫をしていると思いますか。	児童 保護者 教職員	78 44 76	19 37 24	2 8 0	1 3 0	1 8 0	【設問1】前期(児：95%,保：86%,教：100%) 「分かりやすい授業」の項目は、児童の肯定率が微増したが、保護者の肯定率が下がり、「分からない」と答える保護者が増えた。 【設問2】前期(児：92%,保：83%,教：100%) 「学習内容の理解」の項目では、児童・保護者ともに前期と肯定率に相違ないが、教職員の「そう思わない」の評価が増えた。 【設問3】前期(児：79%,保：68%,教：68%) 「伝える力」の項目は、毎回三者ともに肯定的評価が低い。微増しているものの本校において、今学期も学習面における大きな課題である。 【設問4】前期(児：91%,保：83%,教：91%) 「宿題」は、児童・保護者ともに肯定率が微増した。宿題に関する保護者の関心の高さが分かる。 【設問5】前期(児：96%,保：83%,教：96%) 「タブレットの学習」を楽しみにしている児童は多いが、今学期も「分からない」と回答する保護者が多い。	【設問1】 全ての教科で「分かる授業」「楽しい授業」を心掛け、研修主任を中心に、豊かな体験活動やICTを活用した更なる授業改善に取り組む。 【設問2】 学力向上推進主任を中心に家庭学習の形態や評価の工夫、基礎学力を身に付けさせるための朝学習や月末テストに向けての動機付け等、学力向上に向けた取組を実践していく。 【設問3】 「伝える力」を育むために、行事や全校集会など、様々な場面で堂々と発表できる場を設定するとともに、授業中も対話する場面を多く取り入れるよう工夫する。 【設問4】 今後も「宿題」に関心を持って取り組めるように出し方や量(宿題0の日の設定など)について検証していく。 【設問5】 ICT教育の更なる発展を目指し、家庭学習における有効的なタブレット活用方法について児童や保護者の意見も取り入れながら研修を進めていく。
	2 児童は、学習内容を概ね理解し身に付けていると思いますか。	児童 保護者 教職員	55 30 10	36 54 80	7 13 10	2 2 0	1 1 0		
	3 児童は、自分の考えを相手に伝える力を身に付けていると思いますか。	児童 保護者 教職員	40 12 5	37 59 71	17 21 24	6 6 0	2 2 0		
	4 児童は、宿題をきちんとするなど、家庭で学習する習慣が身に付いていると思いますか。	児童 保護者 教職員	64 33 5	30 52 81	4 9 14	2 5 0	1 1 0		
	5 児童は、タブレットを使った授業を楽しみにしていると思いますか。	児童 保護者 教職員	84 58 71	12 24 29	3 5 0	1 1 0	1 12 0		
	6 児童は、あいさつがよくできていると思いますか。	児童 保護者 教職員	43 17 0	40 48 53	13 29 33	4 4 14	2 2 0		
	7 互いを認め合う学級集団になっていると思いますか。	児童 保護者 教職員	55 18 14	36 48 76	7 14 10	2 5 0	15 15 0		
	8 児童は、読書に親しんでいると思いますか。	児童 保護者 教職員	44 20 10	27 32 76	21 30 14	8 16 0	2 2 0		
	9 学校は、地域人材や環境を生かした授業実践に取り組んでいると思いますか。	児童 保護者 教職員	66 46 90	27 42 10	5 3 0	2 1 0	8 8 0		
	10 児童は、「早ね・早起き・朝ごはん」の生活習慣が身に付いていると思いますか。	児童 保護者 教職員	46 33 14	34 46 76	15 17 10	5 3 0	1 1 0		
Ⅲ 健康やかな体の育成	11 児童は、体力づくり(外遊びなども含む)に進んで取り組んでいると思いますか。	児童 保護者 教職員	67 38 52	24 42 48	6 16 0	3 4 0	0 0 0	【設問10】前期(児：80%,保：81%,教：91%) 三者ともに肯定的評価は横ばいで、前期・昨年度からあまり変化はない。今後は児童・保護者の肯定的評価を高める工夫が必要である。(79%・82%・92%) 【設問11】前期(児：82%,保：76%,教：87%) 体育専科・体育主任の年間を通した実践により、児童の体力づくりに対する意識が大きく高まっている。肯定率が前期より9%も上昇した。 【設問12】前期(児：92%,保：88%,教：96%) 今学期も「学校は楽しいと感じている」と回答している児童が多く、全体的な評価は高い。	【設問6】前期(児：87%,保：70%,教：59%) 「あいさつ」の項目は、もともと三者の肯定的評価が低かったが、今回、三者とも更に下がっている。今後も生活面での大きな課題である。 【設問7】前期(児：94%,保：70%,教：96%) 「認め合う学級集団」は、今回三者ともに肯定的評価が下がった。年間を通して、問題行動や言葉遣いの乱れなども注視していかなければならない。 【設問8】前期(児：60%,保：51%,教：82%) 「読書」は、児童と教職員の肯定的評価が上がっている。今後の課題は、家庭での積極的な読書活動である。 【設問9】前期(児：91%,保：87%,教：100%) 地域コーディネーターを中心に地域人材を活用した授業を積極的に展開している。活動内容が保護者・地域にも浸透し、肯定率が上がった。(昨年度73%)
	12 児童は、学校が楽しいと感じていると思いますか。	児童 保護者 教職員	63 42 52	25 45 48	9 7 0	4 3 0	0 3 0		

項目	設 問	回答者	2 学期 各項目選択率 (%)					考 察	改善策等
			ア	イ	ウ	エ	オ		
IV 学校・家庭・地域の連携、他	13 学校は、相談事や悩み事に対して適切に対応していると思いますか。	児童	67	25	7	1		【設問13】前期(児：95%,保：82%,教：95%) 児童・保護者ともに、肯定的評価が少し下がった。学校の対応に関して、両者ともに適切ではない(不満)と感じる部分があったのかもしれない。 【設問14】前期(児：93%,保：80%,教：95%) 保護者の肯定的評価5P下がり、分からないと回答した保護者が15Pと多かった。(前期は8%)児童・教師との意識の差は大きい。 【設問15】前期(児：83%,保82%:,教：95%) 教職員の肯定率が上がったが、児童・保護者の肯定率は少し下がっている。学習発表会等児童の活躍する場面は多かったが、教師と意識の差は大きい。前期は、保護者の肯定率が5Pも上昇していた。 【設問16】前期(保：93%,教：96%) 前期に引き続き、保護者・教職員ともに肯定的評価が高い。HP等で、日々児童の様子をオンタイムで紹介しているだけでなく、活動の様子をYouTubeを利用した動画配信した効果があったと思われる。 【設問17】前期(保：94%,教：96%) 来校時や電話等の「教職員の対応」については、前期と同様で評価は高い。しかし、記述回答で電話対応の問題点を指摘されるなど改善点もある。 【設問18】前期(児：77%) 前期より4P上がった。日々の食育に対する取組の成果が少しずつ児童に浸透してきている。	【設問13】 児童や保護者の訴えや悩みを聞く際には、思い込みや偏見を持たないよう複数で対応し、事実を正確に把握するとともに、常に誠意のある早期対応を心掛ける。 【設問14】 今後も「チーム対応」を心掛け、管理職や生徒指導に報告・相談し、関係機関とも連携して対応していく。保護者に安心していただけるよう「未然防止」に向けての取組や問題が発生後の見守りの様子などもしっかり伝えていく。 【設問15】 学校公式HPや学級通信等を通して、大きな行事や大会以外でも児童の活躍や頑張っている場面を機を逃さず賞賛し、保護者や地域にもお伝えできるよう努める。児童一人一人の自己肯定感を高められるよう見守る。 【設問16】 今後も学校HP、マチコミメール、通信等を活用して学校の方針・活動等を積極的に発信していく。 【設問17】 明るくて風通しの良い、地域から愛され信頼される職員室を目指し、適切な来客・電話対応を全教職員で取り組んでいく。 【設問17】 引き続き栄養教諭の指導等を通じて、これからも食育の大切さを伝えていく。
		保護者	38	39	11	3	9		
		教職員	86	14	0	0			
	14 学校は、児童が安心して学ぶことができる(いじめ等のない)学級・学校づくりに努めていると思いますか。	児童	65	27	4	4			
		保護者	30	45	6	4	15		
		教職員	71	29	0	0			
	15 児童は、学校で活躍する場や先生・友達に認められる場があると思いますか。	児童	48	38	10	4			
		保護者	32	46	11	2	9		
		教職員	71	29	0	0			
	16 学校は、学校の方針や児童の様子などの情報を積極的に発信していると思いますか。	児童							
		保護者	45	47	4	1	3		
		教職員	67	33	0	0			
	17 来校時や電話等での教職員の対応は適切だと思いますか。	児童							
		保護者	63	32	2	2	1		
		教職員	86	10	5	0			
	18 あなたは、好き(す)きらいをせず、給食を残さず食べていますか。	児童	55	26	16	3			
		保護者							
		教職員							

【備考】ア:とてもそう思う イ:ややそう思う ウ:あまりそう思わない エ:そう思わない オ:分からない